

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒100-0005
住 所 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
氏 名 日本リテールファンド投資法人
執行役員 難波 修一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本リテールファンド投資法人		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区日進町1-11		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	K	不動産業， 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	貸事務所業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		3, 528 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	住商アーバン開発(株) 川崎ルフロン事業所
		所在地	川崎市川崎区日進町 1 - 1 1
	電話番号		0 4 4 - 2 4 5 - 3 9 0 0
	F A X 番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成26年度 ～ 平成28年度 (報告年度 平成28年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 7,575 (調) 6,231 t-CO ₂	(実) 7,316 (調) 5,980 t-CO ₂	(実) 7,317 (調) 6,002 t-CO ₂	(実) 7,234 (調) 5,943 t-CO ₂	(実) 6,971 t-CO ₂
削減率		(実) 3.4 (調) 4.0 %	(実) 3.4 (調) 3.7 %	(実) 4.5 (調) 4.6 %	(実) 8.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量			単位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	前年度比較して、電気量で0.7%減。ガス使用量で13.3%減。CO ₂ 排出量としては3.4%減となった。冷温水発生機のオーバーホールによる高効率運転することにより削減できた
第2年度	前年度比較して、電気量で1.5%減。ガス使用量で6%増となった。電気量は駐車場照明LED化等によって削減できたが、ガス使用量に関しては、加湿器を平成27年11月より運用を再開したことにより熱負荷が増えた及び、スクリー冷凍機の故障(タイマ-)により、代わりに冷温水発生機の運転を行った為、増となった。
第3年度	前年度比較して、新館ゾーンエスカレータ底部照明、A階段LED化により電気量で1.8%削減できた。最終目標は達成することができなかった。3年間では少しながら削減することができた。積極的なLED化照明の導入。冷温水発生機にオーバーホールによる高効率運転など行い今後さらに削減できるように努めていきたい。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	・熱源冷温水2次ポンプのインバータ化。 ・空調機インバータ化。 ・既設機器の運用を見直し。 ・高効率照明の採用。 ・全熱交換機更新。
	第1年度	・本館側全熱交換器（INV）更新 ・屋内階段照明の高効率機器へ更新（FLR40型→FHF32型へ）
	第2年度	・本館ゾーンエスカレータ底部照明、駐車場照明LED化
	第3年度	・新館ゾーンエスカレータ底部照明、A階段LED化、本館4F空調機インバータ化計画実施状況 ・熱源冷温水2次ポンプのインバータ化。→未実施。・空調機インバータ化→本館4F実施。・既設機器の運用を見直し。→未実施・高効率照明の採用。→各所LED化。2年度、3年度記載箇所。・全熱交換機更新。→本館更新
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

導入はしていないが、省エネルギーとして有効と理解している。
効果的に発電等利用出来る環境、状況を判断し、積極的に導入の検討を行う。

[illegible][illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	・ダウンライトキャンペーンへの参加
第1年度	・ダウンライトキャンペーンへの参加
第2年度	・ダウンライトキャンペーンへの参加(一部)
第3年度	・ダウンライトキャンペーンへの参加(一部)

様式第 2 号

(第6面)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	5,998	t-CO ₂
(調)	6,887	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎ルフロン	川崎市川崎区日進町1-11	6911	貸事務所業	5,998 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--